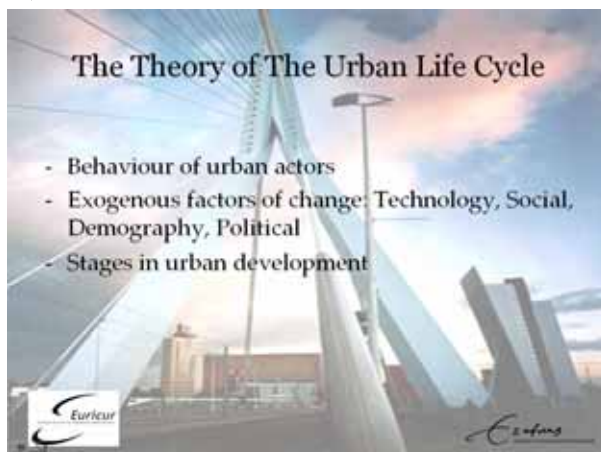


基調講演 2 レオ ファンデンベルグ氏

エラスムス大学教授：オランダ

<都市は経済発展の担い手になりうるか>

情報通信革命によって、都市は全く新しい立地要件が必要になり、機能的な都市地域はコンピュータ化、グローバル化によって都市の郊外の地域も中心となる都市につながっていることが重要である。現代、ますます地域間の競争が厳しくなっており、都市圏はこのようなネットワークを整えることが重要である。



<知識経済 (Knowledge Economy) の構築に必要な要素>

知識経済には、知識基盤 経済的基盤、文化施設、良質な病院があるかなどの暮らしやすさ、国際空港、高速電車、鉄道などの移動手段、成長が多様性によって育まれる、創造性が高まるための都市の多様性 (Urban diversity)、大きいことが必ずしもよいことだとは限らなくバランスも必要であるが都市のスケール、貧困や不公平の緩和を積極的に行い経済的な発展を可能にする社会の質、街に住む人や企業にいかにかこの街が素晴らしいかを伝えていく都市イメージが重要である。

<情報化時代に不可欠な都市間ネットワーク>

情報化時代の今日では、都市間のネットワークが必要であり、誰でも参加することができるネットワークが求められる。

また、貧困の撲滅に向けて、すべてのレベルで効率よく達成すること、市長、民間セクターなどの組織力、まとめていくリーダーシップ、政治的、社会的サポートが必要である。



反公共的な動きは都市の魅力を増害することになり、非常に活発な政府の動きが都市の魅力を増上させる力となる。さらに、都市イメージの増上を図るためにも、都市の再活性化はマスコミによるところも大きい。

<グローバル化の中での都市政策>

つまり、国レベルで積極的に都市の戦略が必要である。フランス、イギリス、オランダのみで、都市づくりの包括的アプローチが行われているが、まだヨーロッパではまだ限られている。都市の発展には、経済、環境、アクセスの容易さのバランスがとれていることが必要である。このためにも、これから民間セクターの参画も必要である。

都市政策は 地方、都市圏レベル、国レベルのものと、さらに 新しい協力体制を通じて大都市圏に機能を与えること、グローバルな経済交流などを通じて統合された政策の必要である。バランスのとれた都市のシステムを作っていくには、都市、国レベルでのネットワークが大切であり、魅力的な都市が都市圏の将来を決定することを十分に認識する必要がある。



レオ・ファンデンベルグ Leo van den Berg

エラスムス大学ロッテルダム ヨーロッパ比較都市研究所長、都市・地域経済学部教授(オランダ)

同大学にて都市・地域経済学博士及び空間経済学修士を取得。経済開発委員会(ロッテルダム)マーケティング専門メンバー、「都市研究に関する政策作業グループ」バイスチェアマン、ユーロシティーズ諮問委員会(ロッテルダム)を歴任。エラスムス大学ロッテルダムにおいて、修士課程の「ヨーロッパ大都市圏のマネジメント」及び「都市ディベロッパー」学術ディレクター、修士課程「都市マネジメントの開発」の学術委員会メンバーを務める。エラスムス大学ロッテルダム地域・港湾・交通経済学部長の後、現職に就任。都市問題に関する論文、著書多数。